

家畜衛生だより 令和元年8月号

紀北家畜保健衛生所	電話	073-462-0500
紀南家畜保健衛生所	電話	0739-47-0974
紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所	電話	0735-58-1481

豚コレラ・アフリカ豚コレラの防疫対策について

昨年から国内発生が続く豚コレラやアジアで発生しているアフリカ豚コレラの対策として、飼養衛生管理基準や消毒方法の見直しを行い、ウイルスの農場内侵入を防ぎましょう。また、豚コレラやアフリカ豚コレラは豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。

◎飼養衛生管理基準の遵守の徹底

- ◇ 人・物・車両によるウイルスの持込み防止
 - 衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と使用の徹底
 - 衛生管理区域、豚舎への出入りの際の車両や靴底の洗浄・消毒の徹底
 - 飼料に肉を含み、又は含む可能性があるときは、あらかじめ摂氏70度・30分間以上又は摂氏80度・3分間以上の加熱処理を徹底
- ◇ 野生動物対策
 - 野生動物避けのネットの設置や修繕、壁の破損や隙間の修繕
 - 飼料保管場所等へのねずみ等の野生動物の排せつ物等の混入防止
 - 豚舎周囲の草刈り、清掃、整理整頓を行い野生動物が近づけない環境をつくる
 - 死亡家畜の処理までの間、野生動物に荒らされないようネットやシートを用いて適切に保管

◎消毒薬使用時の注意点

- 豚コレラ・アフリカ豚コレラは逆性石けんが有効ですが、冬季は低温により効果が下がるため消毒薬の濃度を上げるなど注意が必要です。また、糞などの汚れにより殺菌効果が低下するため、定期的に交換しましょう。
- 豚舎周辺へ消石灰を散布する場合、消石灰は一度だけ散布するのではなく、一定間隔（2～4週間程度）で継続散布しましょう。

◎海外へ行く場合の注意点

- アフリカのサハラ砂漠以南及びロシア、中国等の国々は、アフリカ豚コレラの発生国です。特に昨年8月の中国での発生以降、東アジア諸国における発生が拡大しています。我が国はこれらの国からの動物及びそれに由来する肉の輸入を、原則として、禁止しています。
- 畜産に関係する仕事に従事している人が、これらの国々を訪問した際には、豚飼養農場などへの立ち入りは避けてください。
- 農場などの畜産関連施設へ立ち入ったり、豚やいのししに接触した場合には、病原体が人や物に付着しているおそれがあるため、帰国の際に空港の動物検疫所のカウンターに立ち寄り、家畜防疫官の指導を受けてください。
- 発生国からの肉製品等の持込みは、機内食も含め堅く禁じられていますので、これらの国々を訪れた際には、十分に御注意ください。



飼養衛生管理基準に基づき、過去 1 週間以内に海外から入国又は帰国した者を、厳に必要がある場合を除き、衛生管理区域に立ち入らせないようにしましょう。

気になることや不明な点がございましたら、最寄りの家畜保健衛生所までお問い合わせください。

豚コレラ・アフリカ豚コレラの侵入防止対策を徹底しましょう!

本年9月、日本において26年振りに豚コレラが発生しました。近隣国では、豚コレラ及びアフリカ豚コレラの発生が継続しており、侵入リスクが高い状況が続いています。

衛生管理を徹底しましょう!



関係者以外の農場への立入を禁止



農場(畜舎)に出入りする際には、消毒を実施



飼料に生肉を含む又は含む可能性がある場合は、十分に加熱処理

豚コレラ

2018年9月、11月、12月、2019年1月
日本で発生

特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です!

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等
異状を発見したら直ちに通報しましょう!



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎

写真出典:岐阜県

重症例は後肢麻痺・運動失調・四肢の激しい痙縮などの神経症状、皮下出血による紫斑(耳翼、尾、腹部、内股部)を呈し死亡。

アフリカ豚コレラ

2018年8月以降
中国で発生継続

病状は多岐に渡り、甚急性では突然死亡、
急性では発熱が見られます。

異状を発見したら直ちに通報しましょう!



死亡



チアノーゼ

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40~42℃)、皮下出血、脾臓の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。

写真出典:国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

詳細情報はこちら(農林水産省HP)

豚コレラについて:



アフリカ豚コレラについて:

